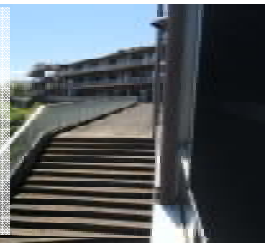


# 田谷の風

第46号

発行日:令和4年5月10日(四半期発行)  
介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙  
〒244-0844 横浜市栄区田谷町 2030-3  
TEL:045-858-5882  
発行責任者:中西成元



## 初めまして。新しい施設長 中西成元 です。 よろしくお願ひします。

コロナの猛威の中、皆様はどのようにお過ごしですか。ご家族はもとよりご友人やご近所の方ともお会いする機会も奪われ、明るい気持ちになれない毎日のことでしょう。さらに危険の高いエッセンシャルワーカーに含まれる仕事に従事され日々ご苦労様です。



私は縁あり今年4月から皆様と働かせていただくようになりました。介護の仕事は初めてで戸惑うことばかりです。卒後より超急性期先進医療を行う病院に長く勤め、その後大企業の統括産業医として海外も含め従業員の安全と健康の増進に助力してきました。

そして急性期のリハビリ施設を経て現

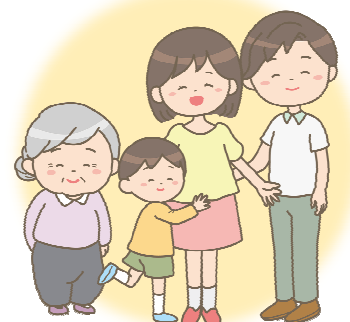
在に至っています。今回の施設は田谷町にありますが職員で田谷町に住まわれている方は少数だそうです。どうしてここにこの施設ができたかは多くの職員の方は知らないとのことでした。



入所されておられる方は、一人一人物語をお持ちでその生活背景は様々です。しかし、職員の方々はその背景を把握され介護しています。私は田谷とは縁も所縁もなく遠方東京から長時間掛けて来ています。介護施設には専従の医師が必要で入所者、職員等の安全と健康を守り増進することが求められます。不慣れですが皆様と共に使命を果たしていきたいと願っています。よろしくお願ひいたします。健康と安全の最高の担い手はあなた自身です。

鶯や柳の後ろやぶの前

芭蕉



# 2F 花見

運よく当施設の周りは実は桜見スポットが沢山あります。ということもあり、今年は3月28日(月)に施設のベランダでお花見となりました。お花見というのはタイミングが重要で、桜が満開でも雨だったり気温が低かったりと良い条件で楽しむかは運次第です。

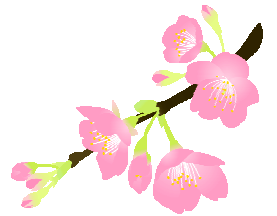
今回は雨ではないが、あまり暖かくない

という中ぐらいの運でした。そして上着を1枚羽織って外へ。でも桜は八分咲きのなかなかの見頃でした。「きれいねー」ととても率直な言葉あり。すこし白い青空の中、薄ピンクの可憐な花びらを見せる華やかな風景に、少しだけリラックスできたご利用者がいらして、職員も心洗われる時間となりました。しばしの鑑賞ではありましたが、春の息吹を感じとって頂けたのではないのでしょうか。



コロナ禍ということもあり、今年も感染リスクが少ない方法でのお花見となりました。できるだけ早く世の中が落ち着き、子供が遊ぶ公園などの、わいわいとした賑やかな風景の中でお花見ができることを願っています。

2階介護副主任 中山



## お祭りゲームでレクリエーション

今年の春も、楽しみにしていたお花見ドライブが中止となり、3階では利用者の皆様に楽しんで

頂こうと、4月15日「お祭りゲームレク」を開催しました。

昨年から「昔を回想してもらおう」と考え、定期的に紙芝居や駄菓子レクを行っており、毎回ご利用者の皆様に喜んで頂けています。今回は思いっきりお祭り気分を味わって頂こうと、職員が昔の遊びや夜店のゲームを基に、金魚すくい・的当て・射的・福笑い・ボーリングのゲームを手作りしました。

的当てやボーリングでは、真剣な顔でボールを投げ、当たった瞬間笑顔に変わる様子、的当て用の紙



で作ったどら焼きが本物のようで食べたがる方、射的の的のお菓子の空箱を開

けて、入ってない事を残念がる方、何度も金魚すくいをやりに来ようとする方等、利用者も職員も皆笑顔が溢れ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。普段食事等の生活の殆どを介助で行っているご利用者が、自ら金魚すくいやボール投げを楽しまれる姿を見て感激し、職員皆で喜び合いました。

次回は以前好評だった駄菓子レクやクジ引きと一緒に組み合わせて、より楽しんで頂けるレクを企画したいと考えています。

3階介護副主任 荒木





いくうちに良い音が響き渡ります。そしてご利用者の番です。

スタッフが体を支え杵を一緒に持ち「よいしょ～」とても力強い姿を見せてくれました。

そして今年は獅子舞の登場です。

獅子舞といえばお正月やお祭りなどの恒例行事としてご利用者には馴染みのものだと思います。2分間程、ご利用者の目の前を獅子が舞い踊り、とても迫力のあるものとなりました。獅子役はもちろんスタッフです。  
(筋肉痛だったようです)

獅子舞には疫病を退治したり悪魔を追い払ったりする意味があり、また人々の頭を噛むのもその人についてる邪気を食べるという意味があります。噛まれたご利用者は大変喜び、笑い声と大きな拍手で餅つき大会は終了しました。

そしておやつはお汁粉です。

スタッフが細かくちぎり、摂取時には見守りの強化に努めます。あんこの甘さや餅のやわらかさに、ご利用者には笑顔が溢れました。いつか、ご家族も一緒に楽しめる日が来ることを願っております。

2F 介護主任 加藤



目となるこの催しは「更に安全に、更に喜んでいただけるものを」をモットーに、各部署の餅つき委員を中心に年明け前から準備を進めてきました。中でも餅の提供は例年の対応に加え、個人の形態表示方法や職員の配置場所を見直したり、喫食時の声掛けを多くしたりするなど、過去2回の成功体験に甘んじることなく、より各フロアの特性に合った安全策を講じることで「更に安全に」召し上がっていただけるよう配慮しました。

また、今回はプログラムの合間に当施設初となる獅子舞演舞にも挑戦しました。これは餅つきを楽しんでいただいているご利用者に「更に喜んでいただける」よう企画立案したもので、言わば職員からご利用者へのサプライズです。餅つきが一段落したところで厳かな音楽とともに先導役・獅子舞・世話役の3名が登場すると、声高

今年も3年目となる餅つき大会を開催しました。  
まずはスタッフがお手本をします。  
杵を振り上げ「よいしょ～」掛け声と共に振り下ろします。スタッフも慣れないせいか臼に当たってしまう事もありました。  
しかし何度か続けて





らかに響く甚句や会場狭しと動き回る獅子舞の姿に、ご利用者も大変楽しそうに魅入っていらっしやいました。恥ずかしながら、私を含め有志職員全員が正式な獅子舞(?)をよく知らなかったため、一連の演出にはかなりアレンジを加えましたが、それはそれでケアポート・田谷らしさが垣間見える演舞になったのではないのでしょうか。

長期に渡るコロナ禍で施設行事も縮小を余儀なくされる場面がある中、こうして無事に餅つき大会が開催できたことに職員一同安堵しております。そして来年こそは、ご家族の皆様にもご参加いただける状況になっていてほしいと、看護課長が筋トレまでして臨んだ獅子舞を観ながら心の中で願うのでした。

栄養課副主任 江崎

## 心も動かしながら

デイケアは、住み慣れたご自宅での生活が安心して継続できるように、心身機能の維持回復を目的として、個別リハビリ以外にも様々な取り組みを行っています。今回はその中から「屋外歩行訓練」と「集団作業活動」についてご紹介させていただきます。

「屋外歩行訓練」は施設周囲の階段・坂道を含む一周約700mを、独歩・杖歩行・歩行器歩行等、ご利用者のお身体に合わせ介護職員が付き添います。周囲は自然が豊かで桜・鶯の鳴き声・竹の子・台湾リス・燕の子育て・新緑の木々等を感じながら歩きます。私達のご利用者とは歩く中で普段なかなか聞くことのできないエピソード等を伺い皆様の人となりやさらに知ることができます。自然に触れ人と触れ合うことのできる時間となっています。今年はこのコースの途中に、テーブル・椅子・お茶・お菓子を用意し、車椅子の方にもお花見を楽しんでいただきました。満開の染井吉野を見上げながら「こんなに間近で桜が見られるなんて!」と感嘆の声が上がりました。

「集団作業活動」は共にアイデアを出し合いながら手指を動かし、その先にある何かを完成させるという喜びを味わう事を目的としています。今回は4月の桜・5月のチューリップ・6月の紫陽花の風景画の



貼り絵を作成しました。いろいろな色の折り紙を細かくちぎり、糊で貼るという作業を根気よく続けていきました。完成品は1階廊下にある仕掛け窓に飾られています。どうぞカーテンを開けて、四季の風景をお楽しみください。また、貼り絵と同時進行で足台の制作も行いました。牛乳パックを切って開いて折りたたんだものを組み合わせて作り、最後に百均の壁紙シートを張って完成です。これらは椅子に座る時の足台として毎日皆様に使って頂いています。

なかなか先の見えてこないコロナ禍ですが、今後も感染対策を図りながら、それでも皆様で楽しめるように工夫し活動を続けてまいりたいと思います。

